

八王子・日野支部 ニュース

発行者：第2次新横田基地公害訴訟原告団 八王子・日野支部 2018.4.17発行

東京高裁・第一回目

5月25日(金曜日)13:30より

傍聴に参加しよう

バスを手配します。

午前10時00分 北八王子駅前出発
 午前10時10分 田島橋バス停経由
 午前10時20分 久保山町一丁目
 スーパーアルプス駐車場付近出発

昼食はバスの中で手配の弁当

正午12時00分 高裁到着予定
 事前集会
 傍聴券「抽せん会」—あれば
 午後1時20分頃 法廷に入場
 午後1時30分 開廷
 午後2時30分 閉廷

(徒歩で移動します)

午後2時45分 報告集会
 場所：弁護士会館
 午後3時30分頃 バスで出発予定
 午後5時10分頃 久保山町一丁目
 スーパーアルプス駐車場付近到着予定
 午後5時30分頃 北八王子駅到着
 (帰りの時間は道路事情によります、その点をお含み置き下さい。)

「世話人会と学習会」のご案内

4月28日(土曜日)18:30~20:30

会費なし、

会場：宇津木台町会会館

夕飯・弁当
用意します

久保山町 1-20-6 (久保山学童保育園隣)

打合せ予定項目

- ☆ 高裁裁判スケジュールと第2回進行協議の報告
- ☆ 「控訴」内容学習 (第四回:将来請求)
- ☆ 八王子・日野支部の活動報告・今後の予定
- ☆ 質問・感想・意見等

世話人 ☆ご出席される方は下記世話人にご連絡ください

◎久保山町一丁目町会の方：中島 TEL:186-042-692-0187
後藤 TEL:042-692-0985

◎久保山町二丁目中央自治会の方：宮川 TEL:042-691-5141

◎石川町の方：守屋 TEL:090-5750-6952

◎上記以外にお住みの方：立石 TEL:042-692-3995

月例世話人会には「学習会」の時間を組み入れたので、皆さんもご参加ください

ご参加
ください

次回対八王子市交渉
5月22日(木曜日)10:00より

4月12日の交渉報告詳細は別ページ



4月1日桜の花が風で散るを惜しんで、周辺の桜を愛でようと世話人二人散歩にと洒落こんだ。

石川町のお宅で声を掛けられました。

「いつも支部ニュースなど届けて頂き、ありがとうございます。読んでいます。この頃、以前と飛行航路が変わったのかなと思うような飛行を目にすることが多くなったようですが、飛行航路は変わったのですか？」

「いやいや、訓練での旋回を勝手気ままにしているの、飛行航路通りには飛行していないのです。」

5月25日の高裁へ傍聴に参加を念押しして失礼しました。



対八王子市(環境部・環境保全課と総務部・総務課)交渉報告



八王子市の回答

①八王子市ホームページの騒音記録データ2016年度表示への『申し入れ』への回答

- 申し入れのあった下記3項目の公表
- イ、Lden 57dBを超えた日の明示
- ロ、騒音レベル別の明細
- ハ、夜間早朝の個々の飛行リスト

これらは環境評価をするためのLdenを算出するための原データで一つ一つのデータを評価する指数ではないので、今まで通り。この原データは委託調査の詳細ではあるので、情報公開条例通り要望あれば手に入れられるので。(⇒見たい人は見られる?)



②八王子市が毎年発行する「環境白書」にある『環境基準を達成しました』の表現は国の「環境基本法」で指示されていることであり、「達成」は使われている。

「何もやっていないのにおかしい」との反論に『おかし』とは感じないが「検討」はしてみるの、時間を頂きたい。

吉田弁護士より裁判報告

5/25に高裁が開かれるが、その前に「進行協議」が行われており、約一年間での結審という方向に進んでいる。その中で特に重要なのは現場検証であり、地裁時と同様の久保山町での開催を要求している。現場がこれほど静かな住宅地なのに爆音でいかに生活・健康に悪影響があるかを体験してもらうことが重要である。

オスプレイ横田配備

別ページに掲載

私たちの反論

まったくゼロ、いやマイナス回答だ何をお願いのか全然理解できない。3年余も本件で会話をしているのに何もやってないし、進歩がなくていいの。黒沢明の映画「生きる」を思い出す。官僚の在り様の問題だ

「告示コンター」は防衛省が出しているが、環境基準と言われる70Wの線がなく、75W以上しかない。この違いを理解していない。八王子市の基本姿勢がおかしい、意見を聞いて騒音問題を研究したのか。

個々の飛行騒音の大きさは何の問題にせず、平均値(当然下がる)だけか。

資料「『環境白書』への申し入れ」を用意したので渡しておく。(詳細は別ページに掲載)

以前の表現から変わったのはなぜ、調べはしたのか、それもせずに前の回答と同じ『検討』とはおかしい。

この4月で環境部長が交代したとの事、以上の『回答』を聞いていると我々は理解できないことが多いので、環境部長本人より直接、どれほど本件を理解し、それへの姿勢、部長としての指針などを顔を会わせて聞かせて頂きたい。早急に部内で調整し返事を頂きたい。こちらの時間は部長に合わせる。

八王子市職員も現場に来てほしい



オスプレイ横田基地配備

対八王子市(環境部・環境保全課と総務部・総務課)交渉報告

4月5日の飛来から

☆は原告団より八王子市へ質問 △は八王子市の回答

- ☆ 4月5日の飛来について連絡はあったか、どこからか。
△ 北関東防衛局から5日にあった
- ☆ 八王子市としてどこに公表したのか
△ ホームページの「地区関連ページ」に掲載した。
- ☆ 何時に連絡を受け、何時に掲載したのか。
△ ここにはその記録を持ってこなかったのだからわからない。
- ☆ この点は重要なのだ。事前のアラームが必要ではないか。
- ☆ 更にホームページに出すだけというのは、以前から苦情を提言しているように、市民にあまねく知らせるといふ立場にない。
- ☆ 次に、飛行ルートにあると思われる我々は度々「連絡してほしい」とお願いしているのに、無視されているのが理解に苦しむ。
- ☆ 2015年の市議会での「オスプレイ配備に対する要請書」が決議されているのに、いまだ市の広報にオスプレイの「オ」の字も見つけない。
- ☆ 市の職員はこの4月5日の飛行に何らかの行動はとったのか。
△ 総務課員は事務所内だったが、環境課長は市役所から見た。担当者二名は石川中学の屋上に待機し、目視。
- ☆ オスプレイの飛行は「飛行モード」か「ヘリモード」だったか
△ だいぶ南西側を「飛行モード」であった。音は低く。
- ☆ 担当者は低周波測定器を持参し、測定できたのか。
△ 測定したが、風の強い日で、オスプレイの低周波だと認定する測定とはならなかった。
- ☆ 市長の本件での記者会見などはあったのか。
△ ありません。
- ☆ あきる野市長、埼玉知事は横田配備のオスプレイが横浜に着いた時点で会見・コメントを発表している。
△ 本件は東京市長会で取り上げることだ。
- ☆ 毎回同じ「東京市長会」というが、なにか具体的に結果が出ているのか。今コメントすることが重要ではないか。
- ☆ オスプレイの訓練が広がりを持って自分たちの上を飛ぶと危惧し、はっきりと意見を発表しているのだ。

ここに町会の3月「騒音記録」(別ページに掲載)を持参した。

特記事項として、新型ハーキュリーズの密集編隊・低速旋回の記録を特集した。米軍のオスプレイ配備への『環境レビュー』に現在の編隊旋回訓練の範囲をオスプレイが訓練飛行に使うと米軍は発表しているのだ。今まで、ハーキュリーズの訓練区域を具体的な図を持って示したことは米軍も防衛省もない。先のあきる野市、埼玉知事がすぐ反応したのはこのつながりを理解しているに他ならない。今の訓練飛行の範囲は基地周辺でとてつもなく広がっている。八王子でも、高尾山を目指して円を描いている飛行などがある。しかも八王子市、東京都、防衛省すべて、この飛行範囲が拡大したところでの騒音調査をしていない。「騒音ない」と。先の市の「騒音対策」の論議にも関するが、自分たちで目視し騒音の現状を理解する努力は必要ではないか。



2017年3月のオスプレイ

4月5日のテレビ報道を見ていたら、2機目が左右に揺れていた。この具体例なのか

なぜ日野・八王子が警戒地区になるのか？

- ① オスプレイのモード変換時は誘導装置によって速さが約 500km/h 以上の飛行速度が必要になる
 - ② モード変換に約 15 秒 (11.8 秒) かかる
 - ③ 着陸までに約 60 秒の余裕とる
- ※モード変換時は面荷重支持から2点荷重支持に短時間で変わるので不安定になりやすい！さらに自らの気流・自然の気流に影響を受け不安定性が増大する！



オスプレイの危険性を復習しながら

構造的欠陥

あまりにも「理想的な兵器」を目指したためか、実用化してからの問題点が次々に発生、事故の多発が続く。

★「飛行モード」と「ヘリモード」の二刀流で今までのヘリコプターに無い長距離飛行で、どこでも離陸・着陸ができ、戦闘行動範囲が飛躍的に広がる。しかし、

- ① 右図にあるように2枚の短いプロペラ(飛行時の抵抗を少なくする)を速く回転(羽根が短く、上昇力を出すため)するので、「ヘリモード」でそのプロペラが作る風の重なり部分で「下降圧力」が発生し、下降・上昇中機体のバランスを崩すと事故になる。
- ② モードの切り替えが速度と揚力のバランスを崩す。「ヘリモード」は2枚の羽根で翼の両端を支点に上昇下降するが、この翼が気流の影響を受けると機体が前後左右に揺れ、エンジン回転数の調整でヘリ羽根の回転を調整しバランスを回復するのだが、まさに操縦者の技量に係っている。



- ③ 特に「飛行モード」から「ヘリモード」に替える場合、今までの翼による揚力を維持するためのスピードが必要となり、着陸地で直ちに着地する場合はだいぶ手前でそのスピードで変換する。我々の頭上で行われると心配する。左図参照。飛行場以外での「ヘリモード」飛行は、日米合意の『確認』によれば『無い』ことになっているが
- ④ 1991年試作飛行、2000年に正式採用後次々と不具合が続き、直しながらの整備・製造が重なり、全体600機中の半数は不稼働状態と、そう言えば、日本での修理場・木更津に持ち込んだ沖縄の一機は一年以上経つのにそのまま工場内にあるらしい。此度横田に飛来した5機も欧州の部隊からの機体である。何も新品は大丈夫ということではないが「中古」のイメージはどうも心配ではないか。
- ⑤ 1000 Km という長距離を飛ぶ「ヘリ型」は、奇襲攻撃されない基地間奇襲部隊を運送し、どこへでも着地できるのだが、何せ燃料消費量が大きいので、燃料タンクも大きく場所を取り、満タンで事故でも起こればどうしようもない「火災」となる

参考
「科学者と軍事研究」 池内了著 岩波新書
「武器開発の現場に「死の谷」と呼ばれる難関が控えているという経験則がある。いざ、実際の実用的モデルでの多くの困難」

八王子市への「申し入れ」に対する回答を受けて、

八王子市2018年版「環境白書」への「提案」検討

私たちは航空機騒音をなくし、『静かな空』を求めて、訴訟という形で解決できないかと進めています。同時にこの裁判の中で被告・国側は「静かになった」という『反論』で、私たちの陳述・証言を否定しています。その根拠に各自治体が行っている「騒音調査」も、根拠にしていることから、私たちの自治体から騒音問題を正しく東京都・防衛省などに届けることによって裁判を有利にしたいと、八王子市との交渉を2014年12月より始めています。今まであまり八王子の『環境白書』を取り上げてこなかったのですが、今年の『環境白書』の中の下記のたったの6行だけの「報告」を見て驚愕しました。

以前は環境基準を『下回りました』を『達成しました』と変えていました。

何も具体的な対策をしていないのに『達成した』主体は誰なのか。八王子市と考えているのだとしたら、これほど「不遜な」八王子市公務員か。基本的に「騒音被害」を考えていないことの証左ではないだろうか。

2017年度版「環境白書」

ウ. 航空機騒音防止対策

本市東部の上空には、米軍横田飛行場を離発着する航空機の飛行ルートがあります。27年度の都及び市の騒音測定結果では、5か所の測定地点中、全ての地点で環境基準を達成しました。国は航空機の騒音対策として対象区域を指定し、住宅防音工事の補助制度を実施しています。

また、市では、市民の生活環境を守る視点から、東京26市で構成されている東京都市長会を通じて騒音対策の充実等について要望を行っています。

2014年度版「環境白書」

(3) 航空機騒音防止対策

本市東部の上空には、米軍横田飛行場を離発着する航空機の飛行ルートがあります。東京都および本市の騒音測定結果では、5ヶ所の測定地点中、4か所環境基準を下回りました。国は航空機の騒音対策として対象区域を指定し住宅防音工事の補助制度を実施していますが、17年10月20日に対象区域の見直しが行われ面積が縮小されました。本市では、市民の生活環境を守る視点から都および近隣自治体と連携して、住宅防音事業の拡充等を国に強く要望しています。

また、NLP（夜間離発着訓練）に対しては、市民の生活環境への影響が大きいため、防衛省防衛大臣、在日米軍横田基地司令官等に対し、随時訓練中止の要請を行っています。

③早朝・深夜の回数を月別で

	早朝・深夜の回数		小計	総数	
	00:~07:	22:~24:			
4月	15	5	20	424	4.7%
5月	27	4	31	586	5.3%
6月	6	0	6	778	0.8%
7月	16	7	23	585	3.9%
8月	20	0	20	313	6.4%
9月	20	9	29	492	5.9%
10月	6	2	8	572	1.4%
11月	7	3	10	526	1.9%
12月	2	0	2	390	0.5%
1月	7	2	9	447	2.0%
2月	4	1	5	353	1.4%
3月	8	1	9	635	1.4%
			172	6101	2.8%

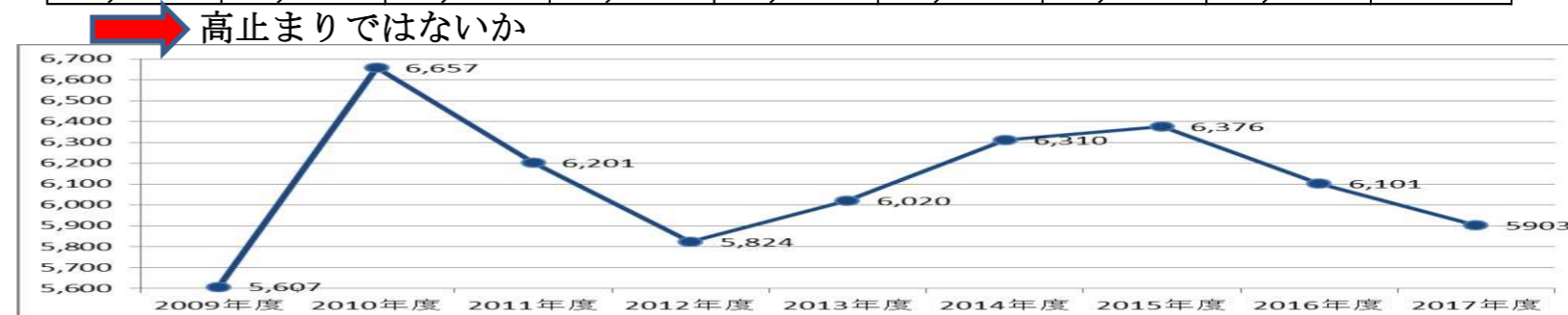
2017年3月 総回数が 636 回と年間では2番目に多い月
 オスプレイの飛来が最多の日が3月14日 騒音回数合計は59回
 久保山観測器: Lden 61.06dB、W値76.1(対象回数49)
 石川センター: Lden 60.2dB、W値 74.2 (対象回数はともに44)
 以下は3月14日オスプレイが視認できた飛行の騒音記録

年月日	時刻	LAmx dB	D. Time 秒	BGN dB	LAE dB	飛行 方向
3/14	10:50:12	69.2	14.6	49	76.9	着陸
3/14	12:09:54	87.0	26.6	48	97.6	着陸
3/14	12:17:50	84.2	12.5	45	91.2	着陸
3/14	13:51:55	91.9	12.9	44	98.9	着陸
3/14	14:43:37	87.0	13.0	47	94.6	着陸
3/14	14:45:27	78.0	8.9	47	84.3	着陸
3/14	15:06:30	93.0	6.5	44	98.0	着陸
3/14	15:24:42	82.3	34.2	43	94.3	着陸
3/14	15:45:15	80.8	9.6	47	87.0	着陸

掲載すべき2016年度とは

騒音回数

年度(4月~翌年3月)別、年間総数の2009年度から2017年度まで	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	5,607	6,657	6,201	5,824	6,020	6,310	6,376	6,101	5903



個々の騒音データを載せよ

個々の騒音データを載せよ

だったのか振り返る

3月八王子市に「申し入れた」項目

- イ、Lden 57 dBを超えた日の明示
- ロ、騒音レベル別の明細
- ハ、夜間早朝の個々の飛行リスト

②特徴ある月

数字確認のため、北関東防衛局のホームページより日毎(365日)のLden、W値、回数をチェックした。

2016年6月	総回数が 778 回と年間で最大月							
	一日の回数が年間で最大日、6月13日は67回、							
	久保山観測器: Lden 62.3dB、W値80.1(対象回数56)							
	石川センター: Lden 60.7dB、W値 78.1 (対象回数はともに43)							
	☆5月三重でのサミットにアメリカ大統領が参加、その関係資材等の運搬と関係機の駐留所に横田基地を使用、その間の訓練を6月に延ばしたこと							
2016年8月	総回数が 313 回と年間で最少月							
	Lden の年間最大日が 8月5日 回数は19回							
	久保山観測器: Lden 70.32dB、W値81.0(対象回数16)							
	石川センター: Lden 70.7dB、W値 81.1 (対象回数はともに16)							
	☆三沢基地配備のF16戦闘機 11機が飛来、一週間の余駐機し、訓練に行き来した。特に8月5日は騒音が大きくなったのは下記の如く3回の離陸による。拝島小学校の騒音観測器のデータとならべれば、戦闘機での騒音の特徴がわかる。							

	年月日	時刻	LAmx dB	D. Time s	BGN dB	LAE dB	飛行 方向	
拝島第二 小学校 での 記録 5機	2016/8/5	6:36:28	107.1	6.0	54	112.3	離陸	2機連
	2016/8/5	6:36:50	110.9	5.0	54	115.7	離陸	
	2016/8/5	6:37:06	107.6	6.0	54	113.3	離陸	
	2016/8/5	6:37:26	109.4	5.0	54	114.5	離陸	
	2016/8/5	6:37:47	107.7	5.0	54	113.3	離陸	
久保山 一丁目 記録 4件	2016/8/5	6:37:30	91.1	17.6	52	101.2	離陸	2機連
2016/8/5	6:38:01	92.9	24.9	52	105.0	離陸		
2016/8/5	6:38:24	92.9	18.3	53	102.8	離陸		
2016/8/5	6:38:46	94.6	15.2	53	103.7	離陸		
拝島第二 小学校 での記録 5機-4件	2016/8/5	12:06:42	101.7	9.0	54	108.5	離陸	5機連
	2016/8/5	12:06:57	113.9	4.0	54	117.8	離陸	
	2016/8/5	12:07:32	110.3	6.0	54	115.2	離陸	
久保山 拝島第二 での記録 4機-3件	2016/8/5	12:07:53	108.9	6.0	54	113.6	離陸	2機連
	2016/8/5	12:07:53	93.4	27.3	62	102.9	離陸	
久保山 2件	2016/8/5	15:50:39	102.6	9.0	56	110.4	離陸	2機連
	2016/8/5	15:50:59	111.8	6.0	56	117.1	離陸	
	2016/8/5	15:51:37	108.5	6.0	56	113.5	離陸	
	2016/8/5	15:51:37	93.0	15.0	63	99.6	離陸	2機連
	2016/8/5	15:51:55	88.5	9.9	63	94.3	離陸	2機連

この注書きはそれぞれの場所で目視の機数と観測器の件数の違いを示した

3月の飛行機騒音報告

騒音対策委員会

2018年4月9日

3月騒音回数総計は557回

100dB以上	90~	85~	80~	75~	70~	60~
0	1	13	71	225	105	142

横田米軍基地に駐機するハーキュリーズの基地周辺での編隊訓練がいよいよ実戦的になされるようになってきた。3月22日(木曜日)の黄昏時のは4機での編隊訓練は、旋回を中心をこの久保山町にしているような飛行でした。

時刻	LAmx	D. Time	BGN	LAE	飛行方向
	dB	s	dB	dB	
17:11:09	79.5	11.1	41	85.9	着陸
17:11:34	78.9	11.5	41	85.3	着陸
17:12:02	78.7	10.8	41	85.1	着陸
17:38:45	66.4	29.9	42	75.4	離陸
17:50:08	74.5	34.7	42	87.1	着陸
17:53:39	67.5	37.1	45	78.6	着陸
18:02:25	77.1	10.3	44	83.5	着陸
18:35:18	78.4	13.1	45	85.7	着陸
18:38:05	77.6	12.0	45	84.7	着陸
18:44:43	61.5	33.5	45	73.2	着陸
18:54:24	63.3	25.0	44	73.9	着陸
18:57:19	60.9	15.7	44	68.9	着陸
18:59:38	78.2	12.6	43	85.2	着陸
19:02:02	63.8	26.5	43	74.1	着陸

一分間の中
3機連に

明細
右上

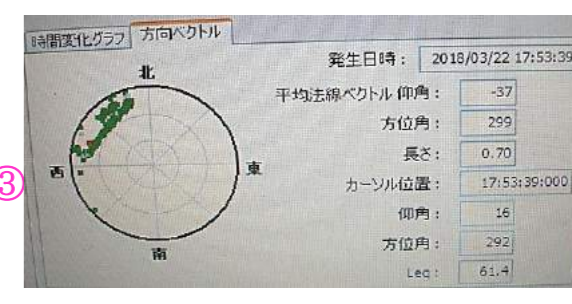
新型ハーキュリーズ



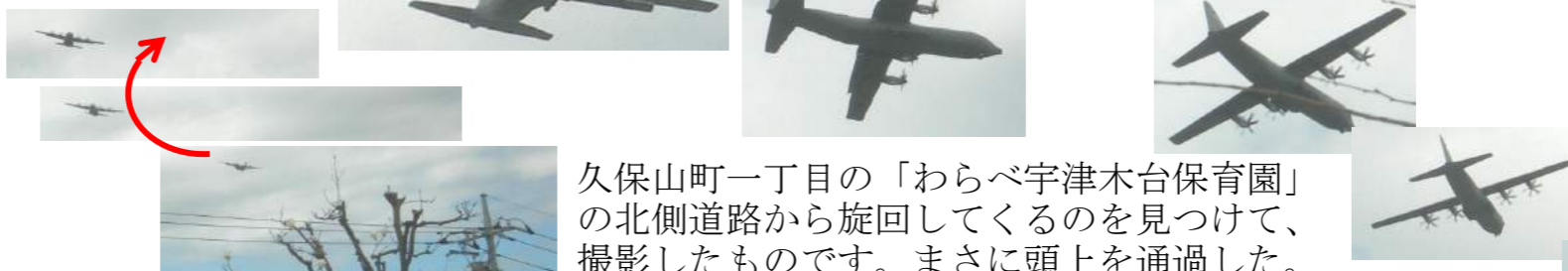
密集編隊・低空・低速での習熟訓練続く

3月22日木曜日は一日中訓練が続いていた。観測件数は52件最大びっくりしたのは、4機が重なるようにかつ2列で飛行訓練です。騒音測定器を詳しく調べますと、記録上一飛行になっていました。下記の飛行記録で説明すれば

- ①17:38の旋回飛行は久保山町二丁目から丸山町の辺りを東から西へ編隊飛行をおこない、この円外を旋回したと思われる。
- ②17:50の旋回は①よりもさらに外側から旋回してきて、測定器の手前上空で飛行場方向に回り込んだ。低空で重なりがある騒音なのに、最高騒音が74.5dBと低いのは全機低速・消音飛行訓練らしい。
- ③3分後の17:53の編隊は久保山二丁目から小さく観測器の頭上に旋回して来たが、②の飛行騒音よりさらに低くなったと思ったら、測定器上空の騒音は記録にあらわれていない。すごい訓練だ。
- ④比較参考に単機で飛行した記録を例示した。飛行航跡は一本の線ようになり、最高騒音は77.1dBであった。



右の連続写真はC-130単機での旋回飛行です。



久保山町一丁目の「わらべ宇津木台保育園」の北側道路から旋回してくるのを見つけて、撮影したものです。まさに頭上を通過した。

3月23日 09:55 LAmx 73.1dB 継続時間 28秒

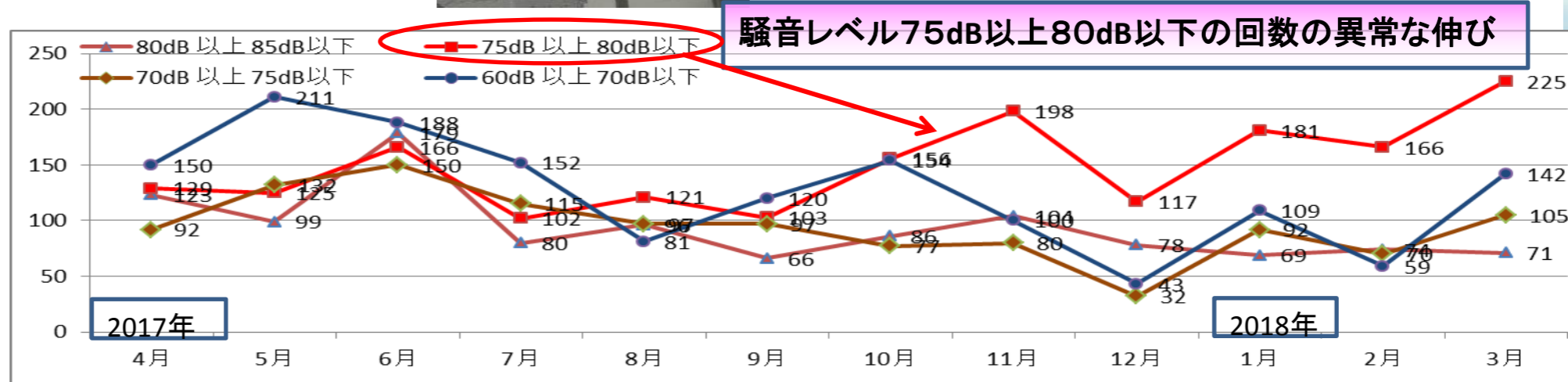
上の表の項目説明

- 時刻—その飛行の最高値を記録した時刻
- LAmx—その飛行の騒音の最高値
- D. Time—その飛行の騒音を記録した時間
- BGN—その飛行の騒音時の地上音
- LAE—総騒音を一秒間換算のエネルギー量
- 飛行方向—飛行場方向へ着陸か離陸か

やって来ました横田配備のオスプレイ5機



4月5日 11時24分
久保山町一丁目上空から横田基地に急ぐオスプレイ。全機「飛行モード」



これは
超大型輸送機
C-17A

